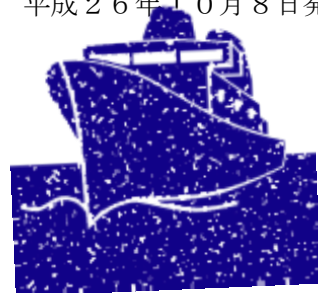


北海道天売高校 連絡船

第5号



第57回天高祭「マキシマム ザ 天高祭」

～ご協力ありがとうございました～

天売高校最大のイベントである天高祭が、『マキシマム ザ 天高祭』というテーマのもと9月13日(土)・14日(日)の2日間で行われました。

13日は屋台を実施しました。多数の島民の皆様にお越しいただき、豚井・キムチチゲ・クレープ・いももち・トロピカルジュース・焼きそば・焼き鳥などを味わっていただきました。また、小さな子どもたちにも楽しんでもらえるよう、射的やヨーヨー釣りなどを用意し、楽しんでもらうことができました。昨年に引き続き今年も展示コーナーを設けました。アンケートでは、どんなことを学んでいるのかがわかって良かったという声もありましたが、展示数が少ないという声もありましたので来年はもっと数を増やすように改善していきたいと思えます。

14日は芸能発表を実施しました。約90名の皆様に来場いただき、ステージ発表・映像劇・和太鼓・天高ソランなどを披露しました。また、「天売ステーション(バンド)」や「島民のど自慢」や「芸達者さんいらっしゃい」では、島民の皆様の協力のもと会場全体で大いに盛り上がる事ができました。来年も多くの参加をお願いします。

近年では最も多い8名で企画・運営することとなった今年の天高祭は、テーマを『マキシマム ザ 天高祭』とし、最大限のおもてなしをしようと準備しました。昨年は3年生がいないため、今の3年生は天高祭をメインで運営するのが2回目です。その経験を生かし、8名という人数で何が出来るかをよく考え、話し合い、各自が努力した結果、多くの方々に喜んでもらえる天高祭となりました。

天高祭の運営に際しましては、PTA、同窓生、一部科目履修生、その他多くの島民の皆様の協力のおかげをいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。また、来年もご協力よろしくお願いたします。



炊事遠足

～今年は天候に恵まれました～

8月22日(金)、真夏日のような天候のもと、楽しい炊事遠足がロンババ海水浴場で実施されました。今年は、3班に分かれて調理にいそしみ、互いの料理に舌鼓。満腹になったところで、存分に海水浴を満喫し、最後に全員でスイカ割りに参加して恒例の野外行事を終えました。



昨年は雨にみまわれたので、快晴となった今年は、生徒たちの弾けた笑顔が印象的でした。

避難訓練

～秋は地震対策～

9月2日(火)、吉崎智久分遣所長をお招きし、秋季避難訓練を実施しました。訓練を通して防災意識を高め、実際の災害において迅速かつ冷静に避難する方法を身につけます。震度6強の地震発生を想定して避難指示が下されましたが、1分で全員が体育館へ避難し、点呼確認することができました。吉崎所長から避難の際に本棚の近くは危険であることなど注意点を教わりました。



開校 60 周年記念式典

～伝統ある天売高校の明るい未来～

過日、創立60周年記念式典を羽幌町長・留萌教育局長をはじめ、多くの来賓、保護者、同窓生並びに島民の方々のご臨席を賜り、挙行できましたこととお礼申し上げます。

本校は、「島の勤労青少年に教育の機会を」という島民の熱い期待のもとに、昭和29年天売村立の高等学校として開校し、翌30年には羽幌町との町村合併により羽幌町立の北海道天売高等学校と改称しました。昭和38年に待望の独立校舎を、昭和49年には屋内体育館が建設され、現在の教育環境が整備されていきました。離島の夜間定時制高校が60年間という長きに渡り、勤労青少年の教育機関として存続してくることができたのも保護者・同窓生・教育振興会そして島民の皆様方のご尽力によるものと深く感謝申し上げます。

式典で、来賓の舟橋町長から「天売高校は、天売島というここにしかない素晴らしい教育環境を有しており、この豊かな自然を活かし、教職員そして関係者が一体となった人間味溢れる活動が今後も展開されることを期待している。」とお祝いの言葉をいただきました。改めて本校がこの島で担ってきた重責を感じ身の引き締まる思いがしております。

この祝賀の年を節目に、島民・卒業生、歴代の校長先生をはじめとする教職員が築き上げた良き伝統を発展継承させるべく全力を尽くして参ります。

また、式典後には、第52次日本南極地域観測隊員の酒井誠至氏による記念講演「遠くて近い南極大陸」と生徒による和太鼓の演奏も行われました。この講演会には、未来の天高生もたくさん参加してくれて、本校の未来が明るいことを実感させていただきました。



天売学「観光Ⅲ」

～赤岩清掃を行いました～

8月30日の土曜授業「天売学」で、赤岩清掃を行いました。ウトウの営巣地である赤岩は、天売島の重要な観光スポットです。展望台を訪れる観光客の方々に気持ちよく利用していただけるよう、心を込めて作業を行いました。展望台の階段の土埃をスコップで取り除いたり、手すりを水拭きしたり、トイレを掃除したりする間にも観光客の方々が訪れ、生徒たちが元気にあいさつする姿が見られました。



今年度も半分が終了

～後期もよろしくお願いします～

早いもので今年度も半分が過ぎ、折り返し地点にきました。新たな先生・生徒を迎えて始まった前期は、5月に行われた島民大運動会や6月の定通体連、先月行われた天高祭など、多くの学校行事がありました。また、今年度から実施した土曜授業の天売学では多くの方々のご協力のもと運営できました。ありがとうございました。天売学は後期にも学校開放講座として開講いたしますので、是非ご参加ください。

後期が始まると学校行事はある程度落ちつきませんが、各種体協スポーツ大会などが目白押しです。また、3月には2年ぶりに卒業式もあります。フェリーも一日に一便となり悪天候の日も多くなってきますが、厳しい環境にも負けず、生徒・教職員一同、力を合わせて頑張っていきたいと思っております。後期もよろしくお願いたします。
(編集担当：尾山)